

比較の見取り図

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 比べる相手がどこにいるかを見て、6つの型を選び分けられる

実力を伸ばすクラス 偏差値のめやす 50~60程度 高校範囲の6つの型を通します (確認は4択)

気づき AとB、どちらも「いちばんうるさい」。一方に the がない。何が違う? (30秒考えて、隣の人と)

A	Our classroom is the noisiest room in this building.
B	Our classroom is noisiest right before lunch.

最上級の the は「最上級だから付く」のではなく、比べた結果どれか1つに決まるから付きます。Aはほかの部屋と比べていて1つに決まるので the。Bは同じ教室の時間帯どうしなので the が要りません。the の有無は、何と比べているかの合図です。

整理 比較の6つの型 (高校で使う骨組み)

形	作り方	表すこと	例文
同じくらい	as + もとの形 + as + 相手	相手と同じ程度	Our team is as strong as last year's. うちのチームは去年と同じくらい強い。
～より上	-er / more ... + than + 相手	相手より程度が上	This bag is lighter than my old one. このかばんは前のより軽い。
いちばん	the -est / the most + in / of	範囲の中で1位	This is the coldest room in the school. ここは校内でいちばん寒い部屋だ。
何倍か	twice / three times + as ... as	相手の〇倍	This box is twice as heavy as that one. この箱はあの箱の2倍の重さだ。
～するほど	The + 比較級 SV, the + 比較級 SV	一方が進むほど他方も	The more we talked, the shorter the time seemed. 話すほど、時間が短く感じた。
no + 比較級	no more / no less than + 数	その数との差はゼロ	I had no more than 300 yen. 300円しか持っていなかった。

口ぐせは1つ「で、何と比べてる?」。相手は than のうしろ・as のうしろ・最上級なら in / of のうしろにいます。ただし The ... , the ... の型だけは相手が文の外—さっきまでの状態と比べています。同じ内容は No other room here is as cold as the science room. のように主語と相手を入れかえても言えます。

確認 () 内から正しいものを選ぼう。 知識・技能

- (1) The new library is not (as / than / more / so much) large as I expected.
- (2) This room is (two times / twice / second / double) as large as the music room.
- (3) (More dark / As dark / The darkest / The darker) it got, the quieter the street became.
- (4) (Not / None / No / Any) other day in the year is as busy as the school festival.

比較の見取り図 | 解答とつまずきポイント

確認の解答

(1)	as	as I expected と対で前も as。not as ... as=思ったほど...でない。
(2)	twice	2倍は twice、3倍からは three times、半分は half (×two times)。
(3)	The darker	両方の節を the +比較級で始めます。うしろの the を落とさない。
(4)	No	No other +単数名詞で最上級と同じ内容。主語と相手が入れかわる。

つまずき① 比べる語が作れず、than だけで書いてしまう

日本語は「より」の一語だけで比べられますが、英語は**比べる語** (-er / more ... / better) がないと比較になりません。形は3つ—短い語は -er / -est (tall→taller / big→bigger)、-ful・-ous・-ed や長い語は more / most、不規則な4組 (better / worse / more / less)。両方の形が使われる語もあります。

× I like curry than ramen. → ○ I like curry better than ramen.

than は「より」という意味の語ではなく、比べる語とセットで働く合図。like のときは better を足す。

つまずき② 「～ほど…ない」を than で書いてしまう

as ... as は2つの as ではさむ枠なので、うしろが than になることはありません。枠の間に入るのはもとの形です (as hot as. as hotter as とはしない)。as many books as のように**名詞のかたまりごと**とはさむこともあります。

× This summer is not as hot than last summer. → ○ This summer is not as hot as last summer.

枠のうしろは as。「比べる=than」と覚えていると、原級の枠にまで than を持ちこんでしまう。

つまずき③ 「～の中でいちばん」の in と of を取りちがえる

日本語はどちらも「～の中で」なので必ず混ざります。**場所や集団のひとつのまとまりなら in** (in our class / in the world)、**並べられる仲間の集まりなら of** (of the three)。速い見分けはうしろが複数形か数か。※ the happiest day of my life の of は別です。

× Our gym is the largest building of this school. → ○ Our gym is the largest building in this school.

school は「ひとつのまとまり」なので in。of を使うなら of the four buildings のように仲間をうしろに置く。

つまずき④ than のうしろが、比べる相手とちがうものになる

日本語は「スーパーより高い」で通るので、than のうしろに店をそのまま置いてしまいます。英語は**比べる2つを同じ種類にそろえる**ので、値段の相手は「店」ではなく「店の値段」。くり返す名詞は **that** (単数) / **those** (複数) で受けます。

× The prices at the school shop are higher than the supermarket. → ○ The prices at the school shop are higher than those at the supermarket.

この文は値段と店を比べている。くり返す prices を those で受けると、値段どうしの比較になる。

つまずき⑤ the +比較級, the +比較級 が組み立てられない

日本語は「練習すればするほど」と前半だけで言い切るので、うしろの節の the が落ちます。約束は**両方の節を the +比較級で始める**こと。比べる語はかたまりのまま節の先頭へ出します。

× The more we practiced, we made fewer mistakes. → ○ The more we practiced, the fewer mistakes we made.

うしろの節の the が落ちている。fewer mistakes をかたまりのまま先頭に出せば、残りはそのままの語順でよい。

授業のひとつ 形の練習から入らないでください。「比べる語がないと than は働かない」を先に体験させると、-er / more の練習が「何のためにやるのか」の分かる作業になります。

